

2025 年 9 月 25 日

ESG データの収集・可視化・分析を効率化する「ESG マネジメントサポートサービス」において、新機能「AI ダッシュボード」を提供開始

生成 AI 活用により、ESG 情報の開示における意思決定の迅速化と、開示精度の向上を実現

株式会社日立製作所(以下、日立)は、このたび、ESG データの収集・可視化・分析を効率化してサステナビリティ経営を推進する「ESG マネジメントサポートサービス(以下、ESG-MSS)」において、新機能として「AI ダッシュボード(以下、本機能)」を提供開始します。

具体的には、ESG-MSS に収集された ESG データを、生成 AI を活用することで自動分析し、経営層や担当者が複雑な情報を直感的に把握できるよう、グラフやチャートで可視化します。これにより、専門知識不要で高度な分析が可能になり、担当者の負荷軽減や、ESG 情報の開示における経営層の意思決定の迅速化および開示精度の向上を実現します。

背景

近年、企業によるサステナビリティへの取り組みに対し、投資家および消費者の関心が一層高まっています。これを受けて、上場企業を中心に、有価証券報告書などでの ESG 情報開示や、経営戦略や事業活動そのものに ESG 経営の視点を取り入れる動きが加速しています。ESG 経営の推進にあたっては、SSBJ(以下、サステナビリティ基準推進委員会)などが定める開示基準への準拠のみならず、企業が自社のビジョンやパーパスに基づいた ESG 戦略を策定し、その社会的意義や持続可能性を積極的に発信することが、企業価値向上につながります。

一方、企業内の ESG データの収集においては、膨大かつ多様なデータの取り扱いに加え、手作業による業務負荷の高さや、業務の属人化などの課題がありました。これらの課題に対応するため、日立は 2022 年 9 月より ESG-MSS を提供開始しました^{*1}。

ESG-MSS は、ESG データを単一のデータベース上で一元管理するクラウドサービスで、手作業や個別のツールに依存していたデータ収集・管理業務の効率化を実現し、BI ツールによる収集したデータの可視化も可能です。そのため、ESG に関する施策の達成状況などのモニタリング・分析結果をもとに、迅速に経営判断を行い、改善施策につなげるといったサステナブル経営の改善サイクル全体を支援します。

なお、日立では、ESG-MSS を活用して日立グループ全体の ESG 情報収集・管理・共有を実施しており、サステナビリティ関連部門の業務効率化を推進しています。ESG-MSS は、日立グループ内で蓄積されたノウハウと現場での運用実績をもとに機能の実用性を高め、提供しています。

今回、より現場に使いやすいサービスとして、生成 AI による ESG データの自動分析・可視化を目的として、本機能を追加しました。

*1 ニュースリリース「サステナブル経営の推進に向けて、ESG データの収集・可視化・分析を効率化する新サービスを販売開始」

2022 年 9 月 7 日 <https://www.hitachi.co.jp/New/cnews/month/2022/09/0907.html>

AI ダッシュボードの特長

課題

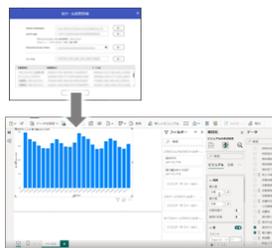
収集したデータをグラフ化するには、ExcelやBIツールなどが必要。

グラフ化に手間取り、収集完了からサステナビリティレポート作成まで時間がかかる

BIツールに不慣れでデータ成形に時間がかかる！



データ収集・報告担当者



解決

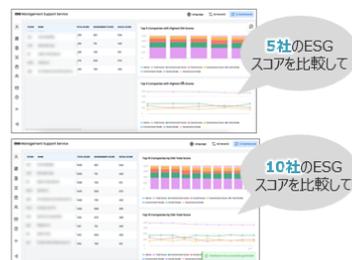
プロンプトを入力するだけで、収集したデータからグラフ化が可能。

ダッシュボード上でプロンプトを入力するだけで、グラフの作成や編集が可能

プロンプトでグラフが作成できる！



データ収集・報告担当者



5社のESGスコアを比較して

10社のESGスコアを比較して

本機能は、ダッシュボード上でプロンプトを入力することで、収集した ESG データの傾向を生成 AI が分析し、グラフやチャートで視覚的に表示します。従来は、収集したデータをグラフ化する際、Excel や BI ツールを活用し手作業で実施していました。このため、収集完了からデータ成形まで時間がかかり、サステナビリティレポートの作成における担当者の負荷を高める要因となっていました。本機能により、こうした負荷をかけずに収集したデータをグラフやチャートにより可視化できることに加え、専門知識を必要とせず高度な分析が可能になり、ESG 情報の報告業務のスピードと精度を向上します。さらに、経営層や担当者がデータの内容を把握しやすくなることで、迅速かつ確かな意思決定を支援します。

今後の展開

日立は今後も、利用者のニーズや市場動向に合わせ、ESG-MSS の機能を継続的に強化していきます。具体的には、AI ダッシュボードの機能追加や、SSBJ などの国内外の開示基準に対応した各種法令対応テンプレートの提供などを実施していきます。さらに、利用企業のフィードバックをもとに、現場での使いやすさや実務に沿った改善を継続することで、サービス品質の向上を図ります。企業の ESG 情報開示をより効率的かつ確実に支援することで、ESG 情報の戦略的活用と企業価値の向上に貢献します。

ESG マネジメントサポートサービスについて

[ESG データ収集・管理を支援 ESG マネジメントサポートサービス：金融ソリューション：日立](#)

商標注記

・Excel は、マイクロソフト 企業グループの商標です。

お問い合わせ先

株式会社日立製作所 金融システム営業統括本部 [担当：千葉]
〒100-8220 東京都千代田区丸の内一丁目 6 番 1 号
お問い合わせフォーム：<https://www.hitachi.co.jp/finance-inq/>

以上